

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	消防施設維持管理費					
担 当 課 係 名	環境防災 課		生活環境 係		作成者	加藤隆政
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち				総合計画の ページ
	基本計画	消防体制の充実と消防団の育成強化				
	主要施策	消防・防災設備の整備				86
予 算 費 目	一般 会計	9 款 消防費	1 項 消防費	3 目 消防施設費		
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分			
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	消防法					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市民に対し安全安心な暮らしが出来るまちを創る
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	消防防災設備の整備を図ることにより体制が強化される
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	消防防災設備の維持管理

【事務事業の推移】

（単位：千円）

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	修理修繕箇所	箇所	42	50	
	成果指標	修理修繕箇所／要望箇所	%	95	95	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			7,937	13,381	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源		7,937	13,381	
	人件費 (B)		—	3,141	3,228	
		職員数	—	0.4	0.4	
		職員平均人件費	—	7,853	8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—	11,078	16,609	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	263,762	332,180	
			—			
	市民1人当たりのコスト(円)		—	347	529	

【事務事業の今までの成果】

老朽化している施設などの更新や維持管理を十分に行うことにより体制の整備強化が図られている

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	他自治体においても更新や修理修繕で対応している
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	施設の維持管理について、市民からの要望については即対応しているので問題ない

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
C	A	現状のまま継続（実施）	できれば老朽化した施設を新しくして維持管理を行いたい
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

予算が許せるのであれば、消火栓・ポンプ等全て更新していただきたい

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C	消防施設は地域住民の生命や財産を守るための重要な役割を担っており、維持管理については事業として大幅に事業を充実（拡充）させていく必要と考える。

一次評価診断図

